

1人でも多くの母と子が母乳で育てられる幸せを

'94 第3回 国際母乳育児週間

母乳育児シンポジウム

主催

日本母乳の会

(母乳をすすめるための
産科医と小児科医の会)

1994年8月6日～8月7日

大阪市 新阪急ホテル

'94 第3回 国際母乳育児週間
母乳育児シンポジウム

主催 日本母乳の会
(母乳をすすめるための)
(産科医と小児科医の会)

後援 ユニセフ

1994年8月6日～8月7日

目次

母乳育児を成功させるための10か条

産科医と小児科医へのメッセージ 山内逸郎

哺乳動物の掟

母乳権

医療者の意識改革

母乳育児成功のための必要条件（山内3.5か条）

支援組織

誤解誤認

開演挨拶 橋本武夫運営委員長 聖マリア病院母子総合医療センター

〈ユニセフメッセージ〉

第3回「母乳育児をすすめるための産科医と小児科医の会」へのメッセージ

ジェヒー・ワイルダー ユニセフ日本・オーストラリア・ニュージーランド事務局所長

山内逸郎先生の母乳育児へのリーダーシップは日本で重要な役割をしました

WHO・ユニセフによる「赤ちゃんにやさしい病院」の認定と「10か条」

「子どものための世界サミット」では、母乳育児の推進と母性の保護を

「母乳代替品のマーケティングに関する国際基準」を守るよう、徹底を

〈厚生省メッセージ〉

「母乳育児」に対する行政の対応について 清水みどり 厚生省母子衛生課 課長補佐

WHO 総会決議を受けて、3つのスローガンをかけています

医療者と母親が一緒に話し合うのはすばらしいことです

山内逸郎先生と母乳育児 山内尚子 大畑小児科医院

〔第1部〕招待講演

戦後の食生活の変遷と母乳育児 島田彰夫 宮崎大学教育学部教授

〔第2部〕基調講演

「母子同室制」の持つ意味—母と子は切り離してはいけない—

橋本武夫 聖マリア病院母子総合医療センター

母子の初期のコンタクトの欠如と、被虐待児と母子の希薄な関係
出生直後の母と子のアタッチメントには感受期があります
母と子の最初の出会いの重要性
胎盤と胎児の関係と、生まれてからの乳腺と赤ちゃんの関係
乳腺と赤ちゃんの基本的な関係を作るのは母子同室です
赤ちゃんを生んだ母親に母性愛を目覚めさせるための場が母子同室
母性は、受胎とともに始まり、出産育児で育くまれ、女性の人格と切り離せない
どんな状態であっても母子を支える援助をしなければならない
「母と子は切り離してはいけない」ことをしっかりと理解して欲しい

〔第3部〕

母子同室制の実践

大学病院での同室制の導入とその経過 —母乳育児を子育ての原点に—

堀内勤 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院周産期センター

助産婦の立場から —ルーチンの仕事の見直しから—

二俣ゆみ子 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院周産期センター

総合病院産科における母子同室制の導入 —スタッフの意志を統一することが大切—

北村幸太郎 PL病院産婦人科

総合病院小児科と母子同室制の導入 —30分以内の授乳、頻回授乳は分泌は多い—

常井幹生 鳥取県立鳥取中央病院小児科

母子同室制への取り組みを始めて

—産科医、小児科医、助産婦などの意志統一がむずかしい—

金沢瑠璃子 札幌天使病院産科

母子同室制導入に当たっての基準作成 —新生児室の閉鎖によって、母子同室に—

貴家大江 日赤医療センター産科

母子同室制がもたらした助産婦達の意識の変遷

—毎回、授乳量を測るのを止めました—

下川さえ子 聖マリア病院産科

母親の母子同室体験 ―きつかったけれども欠けがえのない7日間―

浦 康子 長崎県諫早市

国立長崎中央病院の母子同室 吉永宗義 小児科

総合討議

Q 脱水や赤ちゃんの盗難の対処にはどうしたらよいのでしょうか

A 脱水の予防は、24時間以内の7回以上の授乳です

A 病棟全体に扉をつけ、母親が大きく移動する時はスタッフにあずけます
最初から赤ちゃんと一緒にいると、お母さん達は間違えません

Q お見舞客についてはどうしてありますか 入院期間中の沐浴は？

A 面会が多いと疲れます。部屋を暗くして、昼寝タイムをつくります

A 沐浴は、生まれてすぐは必要ありません

A 赤ちゃんへの感染防止のためにも沐浴は必要ありません

母乳育児を子育ての大きな柱として欲しい

10%以上の体重減少でも、ほとんどは母乳だけで、大丈夫です

未熟児の母子にも、母乳育児ができるように母子同室、また同室に近い施設を

母乳育児がスムーズにできるために、自然分娩にも、注意を払って欲しい

〔第4部〕

母乳育児を継続させるための取り組み

開業産科分娩施設における母乳育児の継続的援助について

笠松堅実 大阪・笠松産婦人科小児科

病院分娩後の母乳育児の指導

―― 乳頭異常、母乳不足感、母乳分泌不良の3つの問題点

中山真由美 国立岡山病院小児科

開業小児科医の母乳育児支援の関わり

―― 診療後、施設を母親たちに開放してサークルづくりの支援

宮下晴夫 佐々木礼子 東京・宮下小児科医院

地域における母乳育児支援活動—1 “おっぱい祭”

——自治体とともに「おっぱい都市宣言」をめざして 梅田 馨 光市・梅田病院

開業助産婦の母乳育児の活動 —自然分娩・母乳をひとつの流れとして—

浜元勝枝 沖縄・浜元マタニティライフセンター

地域における母乳育児支援活動—2 —母親達による母親達のためのサポート—

上原桂子 大阪 ラ・レーチェ・リーグ箕面

母乳育児にかかわる分娩施設の現状 —大阪におけるアンケート調査—

岡村博行 大阪・岡村産婦人科医院

総合討議

母子同室は助産院がやっていたこと 助産婦の業務とともに復活してほしい

母乳についての正しい知識の本が書店には、あまりありません

母子手帳の離乳食の項を改編して欲しい

保健婦として母親として、第3子出産にあたって、病院に要望を出しました

赤ちゃんは3カ月ごろまでは頻回に吸うものなのです

〔第5部〕

赤ちゃんにやさしい病院 (Baby Friendly Hospital) 認定とその基準

赤ちゃんにやさしい病院 (Baby Friendly Hospital) 認定キャンペーンの
生まれる経過 澤良世 ユニセフ駐日代表事務所

赤ちゃんにやさしい病院 (Baby Friendly Hospital) の認定と、その基準
山内芳忠 日本母乳の会運営委員 BFH 担当 国立岡山病院小児科

赤ちゃんにやさしい病院の認定基準について基本的姿勢

日本で第3番目の B.F.H は、産科施設のモデルとなる石井第一産科婦人科

開業当時から母乳育児をめざして 石井廣重 石井第一産科婦人科クリニック

〔第6部〕 特別講演

「母乳は愛と存在感のメッセージ」 —母乳育児が子育ての原点です

石田勝正 国立京都病院整形外科

〔第7部〕

母親と医療者との交流会

交流会に参加された全員が、母乳育児に対する熱い思いを、発言した会

〈グループ討論のまとめ〉

- ・食事と母乳の関係を産科医は、もっと考えて
- ・勤務助産婦、看護婦の母乳に対する意識が低いのではないのでしょうか
- ・母乳育児のためには、よいお産が大切
- ・母親の意識をもっと高める必要があるのでは
- ・母子手帳の離乳食指導を考え直して欲しい
- ・助産婦はもう少し、母乳に対して勉強して欲しい
- ・「母子同室」、母乳主義の施設を見つけることがむずかしい
- ・病・産院では、院長からスタッフまで、勉強することが必要ではないのでしょうか
- ・産婦人科医が、もっと母乳を理解して欲しい
- ・母乳育児を続けていくには、3～4つのハードルを乗り越えなくてはなりません
- ・医療者は指示的な態度ではなく、すべてを受け入れる姿勢が大切
- ・保健所では、数字に捕らわれすぎた母乳指導が行われているのでは
- ・お母さん方も、もう少し勉強して、専門家に負けない知識を
- ・父親に出産、母乳育児の情報を与えて欲しい
- ・母子同室、頻回授乳が正しく理解されていないのではないのでしょうか
- ・医療関係者は母子同室にすると母親が不安と言うが、母親はもっと自立している
- ・祖父母教育が必要な時代
- ・自然妊娠、自然出産、そして母乳へと、自然な流れをつくれる医療を
- ・自然分娩、完全母乳育児の考え方の調整が必要ではないのでしょうか
- ・母乳教育は母親になる前の女性から必要ではないのでしょうか
- ・歯科医から、母乳と噛む力の関連の重要性を指摘されました

総合討議

「母乳の会」の先生方へお願い。お母さんの会にお話に来てください
お母さん方が気軽にできる母乳相談の窓口を早くつくってください
もっと、この「日本母乳の会」のPRをしてください
産婦人科学会で、「日本母乳の会」をもっとPRして欲しい
厚生省にもっと働きかけて、保健所の指導を改めさせて欲しい
働くお母さんでも母乳育児が出来るように1年間の育児休職が取れるように
〈お母さん方と医療者の交流会を終えて〉

「日本母乳の会」への期待の大きさを感じました 山縣威日 岡山・サンクリニック
医療者の変革が必要です 近藤裕一 熊本市立熊本市民病院新生児医療センター
母乳育児をしている母親がもっと声をあげ、医療側に働きかけていくことが大切と感じ
ました 片桐田鶴子 札幌母乳育児をすすめる会
〈運営委員長の閉会の挨拶〉
母乳の会の運営委員は、全国どこへでも講演にいきます
橋本武夫 聖マリア病院母子総合センター

〔資料〕

赤ちゃんにやさしい病院 (Baby Friendly Hospital)
母乳代替品のマーケティングに関する国際基準 (WHO 基準)
粉ミルク無償提供禁止
母乳育児は世界の流れに
「母乳をすすめるための産科医と小児科医の会」設立に当たって
「母乳をすすめるための産科医と小児科医の会」から「日本母乳の会」へ
「日本母乳の会」会則
入会申込書

編集／永山美千子
編集協力／伊藤直美 堀田八重子 松田絃子
大越理江 永山聡子